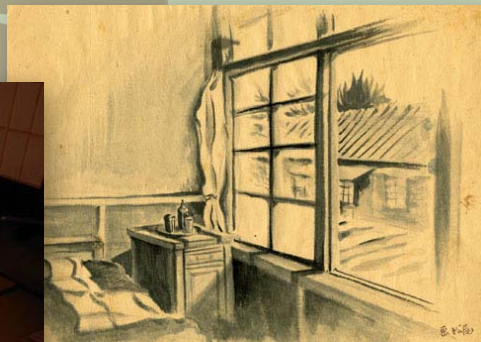


新収録映像 企画上映会

平成22(2010)年 9.29水 ~ 12.5日



会場 しょうけい館1階
開館時間 10:00 ~ 17:30 (入館は 17:00 まで)
休館日 毎週月曜日、10月12日(火)
*10月11日(月)、18日(月)は開館

入館無料

しょうけい館で、これまで制作した戦傷病者とその家族の証言映像も、昨年度の後期分を含めると100本を超えました。

今回は、昨年度前期に収録した映像と関連資料の一部をご紹介します。

青森

「生きるにはこの道しかなかった」 右眼受傷

「すべてめぐり合わせと思って」 肺結核

「熱砂の抑留生活」 肺結核

「何としても生きて帰る～極寒と酷暑の地で～」 マラリア

「思わぬ受傷で大きく変わった人生」 右手受傷



摘出弾

静岡

「四十四年間

～脊髄損傷の夫とともに生きぬいて～」 脊髄損傷

「窮すれば通ず、左手でソロバンも」 右手受傷

「一発の機銃弾を体内に残したまま…」 両足受傷



屋外収録の風景

富山

「失ったものを嘆かず、残ったものを鍛える」 左足受傷

「九十四歳。おおいに語る傷痕の人生」 右足受傷

「苦勞、我慢、言ったらきりが無い」 左足受傷

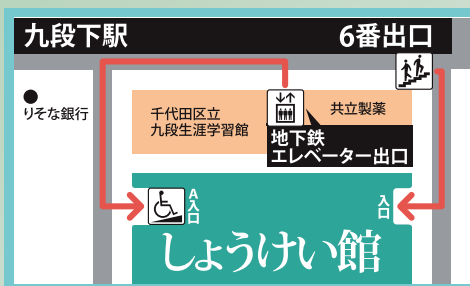
「感謝、そして人との和」 頭部・両足受傷

「いつも傷痕の夫を想いつづけて」 左足受傷

「人生を変えた職業訓練」 右肩受傷

しょうけい館

しょうけい館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦について証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。



TEL 03(3234)7281 FAX 03(3234)7826 URL www.shokeikan.go.jp

住所 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-13 共同ビル九段 2 号館